

平成 22 年第 3 回定例会における中原議員議案質疑再質問（市民局長答弁分）

<中原議員>

各委員会でもた議論を続けていきたいと思いますが、緊急雇用に関してだけ、ここで再質問をさせていただきたいと思います。

まず確認をしたいのは、一連の雇用創出事業で、結局、つなぎ雇用や緊急雇用で就業した人がちゃんと自立できたのは、いったい何人なのかを教えてください。さっき、13 人とか、45 人とかいろいろありました。結局、合計でどれだけ税金をつぎ込んで雇用を創出して、きちっと働く能力のある人を正規雇用につけることができたのか。ここの数値をもう一度はっきり教えてもらいたいということ。

それから、先ほどの、派遣会社に対する事業ですが、委託する地域人材育成事業、これの派遣手数料というものを 3 割くらい取ることになっているという答弁がありました。これは取り過ぎですよ、誰が考えても。この「派遣」そのものが問題だと言っている時に、派遣会社にわざわざ仕事を委託して仕事をしていただくというのは、いかがなものかと思えます。この辺のやり方については、見直しをしていただきたいと思えます。

もう一回、今後も、派遣会社等に委託する事業については、派遣手数料を 1 割にするとかいうことに、もっと下げることができるのか、それとも、派遣会社に委託しなくたって、例えばマツダとか、いろいろ大手の企業で直接働いてもらって、若い人のスキルをアップして、そういうことはできないのか、その辺ちょっとお考えをお聞きしたい。

それから、人件費の問題で、事業費の 2 分の 1 まで人件費が保障されていればいいという大雑把な決まり事しかないのですが、82% の平均落札率、これは平均ですから、もっと高いものともっと低いものとあると思うのですが、一番落札率が低かった事業では、一人あたりの時給はどれくらいになっているのかを教えてください、その事業名も。

広島市にも臨時職員の方が働いていらっしゃるんですが、一般職の臨時職員さんというのですか、このみなさんは、7 時間 45 分の勤務で 6,300 円とお聞きしました。時給は 810 円ぐらいになるのだそうです。この広島市の臨時で働いていらっしゃるみなさんの 810 円よりも上か、或いは同レベルかというふうなことを確保すべきかと思うのですが、その辺りは実際どうなっているのかをご答弁願いたい。

それから、具体的にはそれぞれの委員会でおやりになればいいのですが、私が気になるのは、特に「商店街実態調査事業」というのがあるのです。567 万円の総事業で 98 人雇用するんですね、98 人雇用するといえば、やるじゃないか、と思うのですが、単純に 567 万

円を98で割ると58,000円ぐらいにしかならないんですよ。これは、ひと月にではなく、9月から3月まで7ヶ月間で58,000円です。ということはですね、こんなもので食べていけないですよ、小遣いにもならない。こういうことで雇用創出とは私は言えないと思うのですが、その辺の市の考えをお聞きしたい。

<市民局長>

まずは緊急雇用創出事業、いわゆるこれは原則6ヶ月以内の雇用でございますが、この事業での雇用で正規につながった数は13人でございます。それと、ふるさと雇用再生特別交付金の方では、逆に1年以上の雇用が前提でございます。市の方では、21年度の6月補正で、2年半ぐらいを長期の契約でしておりまして、これは一応、この事業がある限りは、長期の、2年を超える契約となっているものでございます。

それと、派遣の手数料の件でございますが、これは、実際上の雇用契約の中では、受託者と派遣契約書の中で、実際の労働者への賃金がいづらかということとは明記されないということでございますので、先に申しましたが、県の方が、この事業を使った場合に、自らの職員を使うのではなく派遣会社から人を得た場合は、派遣会社に払ったうちの7割を賃金とみなすと、3割は手数料・その他物件費とみなすということで、逆に、これが高いという風におっしゃいましたが、さっきご指摘がありましたように賃金は5割以上、事業費の半分以上を人件費として整理する必要がありますので、そういう意味では、むしろ、(人件費の)比率としては上がってくると、これは、明確にいくら払っているということではなく、この事業の中ではそういう風にみなそう、ということで、詳細な実態、いくら手数料を取っているかどうかは不明である、ということでございます。

それと、落札率が最も落札率が低かったのは、公園施設の現況調査事業でございます。48.9%となっております。一人当たりの時間単価は730円で、市の臨時職員賃金の時間単価810円を下回っています。ただ、これは、業務の内容がそれぞれでいろいろあろうかと思えますので、730円が絶対的に安いかどうかは、業務ごとに応じて、市の臨時賃金との比較で必ずしも低いといえるかどうか、ちょっと明確ではないかと思えます。

以上でございます。

<中原議員>

結局、13人しか正規雇用につながらなかったということで、何もしないよりは、13の方が正規につかれて、総額の人数はわかりませんが、1,000人以上にわたる人が、少しはつなぎの仕事があって、生活がやっていけたということにはなるんだと思うのですが、やはり、改めて、派遣について、要はわからない、不明だということを、局長はおっしゃいましたが、この賃金が不明のようなことではいけませんよね。やはり、雇用するからには賃金のところが一番大きな問題じゃないですか。そこがどうなっているのか、契約にきち

と明記して、それがきちっと守られているかどうかは、市がやっている事業なのだから、市が責任を持って確認しなきゃ、そういうシステムをぜひつくっていただきたいという風に思うところです。

広島市がいろいろ事業を考えて提案されて、これはそれぞれ必要な事業だから提案されたんだと思うのです。必要な仕事だから提案されたのだと。こういう（緊急雇用で）働く人は、もう期間がきたから、はいご苦労さんでした、さよなら、というのではなくて、必要な仕事をやっていただいたのだから、そこからスキルを伸ばしていただいて、市の正規職員として雇い入れる、そういう道をやっぴり拓いてあげてほしいという風に思います。

この間、随分、事務の処理ミスも問題になりましたが、私が懸念するのは、人がだんだん減って、専門職というのですか、いろんな事をよくわかっている人がいなくなったり忙しかったりで、きちっと、ミスがないのかというのを、落ち着いてゆとりを持って仕事をしていくという環境にないんじゃないかと思うわけです。それぞれの皆さん能力があるのだらうけれど、いろんな仕事がたくさん来て、精神的にやはり、急がなきゃ、というようなことで、人ですからミスはします、当然。だから、そういう、ミスをするというところも差し引いて、やはり、安定した仕事ができるような正規雇用を増やしてほしいということをお願いして、終わります。